

ハテ實施之ヲ制度デアリマスカラ之ヲ変更廢止スルコト
ハ絶對不可能ト思ヒマス

第二項ノ勞働過重ノ問題ハ

第一項ノ問題ニ關係シテ居ルト思ヒマスカ 綜合制派出
所實施ノ結果 諸君方ノ仕事が従来ニ比シテ續々過重ニ
ナツタ矣モアルト思ヒマス

然レ此ノ問題ハ従来ノ諸君方ノ仕事が他ノ勞働ニ比シテ
樂過ニシト莫モアツタト思ヒマスシ 又現今ハ何レノ勞働
量モ一級ニ増加シテ居ル事モ考ヘネバナラナイト思ヒマ
ス

然レ會社デハ仕事ノ特ニ多イ派出所ニ對シテハ 別ニ適
化方法ヲ考ヘ増員ノ要アルモノハ乘カニ増員シ以テ勞働
過重ヲ緩和スル方針ヲ採ツテ居リマスノデ早晚平均が採
レテ過重ノ人モナクナルト思ヒマス

第三項ノ外邊工科制ノ問題ハ諸君ノ御話ノ様ニ非常ニ危
険ガ伴フモノトスレバ考ヘ直ス必要ガアルト思ヒマスノ
デ考慮シマセウ

第四項ノ事故係ハ事故ノ生ジタ場合直チニ間ニ合フ様ニ
待機スルノガ本質デアル ト思ヒマスガ諸君ノ話ノ様ニ
實際待機セズ他ノ仕事ヲ命セラレテ居ルトスレバ其ノ實
情ヲ調査スルコトニ致シマス

第五項ノ電工ニ對シテ自轉車貸與ノ件ハ大体「リマーカ
ー」レハ配給シテアルガ 自轉車ハ配給シテ無イ故ニ諸君
方個人所有ノ自轉車ヲ以テ此ノ「リマーカ」レヲ索引ス
ルト云フノガ諸君方ノ御話ダト思ヒマスガ「リマーカ」レ
モ豫算ノ關係デ全部ニハ配給シテ無イ

之ハ配電課ト相談シテ見ルコトニ致シマス

第六項倉庫夫ニ對スル獎勵歩ノ問題ハ研究スルコトニ致